



発行所  
福井県大野郡  
和泉村

(昭和43年1月1日現在)

村の人口	
出生	5人
死亡	2人
転入	11人
転出	98人
総人口	3,517人
男	1,850人
女	1,667人
世帯数	1,047世帯

村の面積  
332.26平方km

### 今月の目標 社会教育の向上

- 一、公民館活動には進んで協力しましょう
- 一、各学級などの催しには揃って参加しましょう
- 一、余暇を善用しましょう

### 吾等の念願

村の問題について  
公共的精神を持ち、  
公正であり、積極的であること。

## 第四十七回定例会おわる 議案九件を可決成立

第四十七回和泉村議会定例会は、十二月二十二日から二日間開かれた。審議された議案は九件で、このうちおもなものは、一般会計をはじめとする農業共済事業特別会計および簡易水道事業特別会計補正予算、村道の路線変更、監査員の選任などで、いずれも原案どおり可決された。提出議案は次のとおりである。

- 一、和泉村立学校設置条例の制定について
- 二、和泉村税条例の一部を改正する条例の制定について
- 三、村道の路線変更について四、林道路線認定及び廃止について
- 五、監査員の選任について
- 六、村有古建物の無償譲渡について
- 七、昭和四十二年和泉村一般会計補正予算案
- 八、昭和四十二年和泉村農業共済事業特別会計補正予算案
- 九、昭和四十二年和泉村簡易水道事業特別会計補正予算案
- 一般 四百九万七千円を補正
- 監査員には三島一氏を選任

これまで度々新聞、テレビ等で当村の観光開発を始め村の再建についての報道はあったが、各社の記者諸氏の主観的な観測や取材源の如何によって必ずしも正しいものとは言えなかったがここに村当局並に観光関係者合意のもとに打ち立てられた四十三年度の基本方針は次の通りであるが、これが達成には村民各位の十分な御協力を得なければその成果を挙げるのが困難なのでこの点十分な御理解を得たいと思

### 昭和四十三年度

## 和泉村観光開発計画成る

います。

### 観光開発基本計画

一、鉄道朝日駅の建設を村再建に有効に役立てるべく駅前平面計画を機能的にも観光的にも後日、悔を残らさぬよう地主の協力は勿論、鉄道公団とも十分話し合を進める。

二、ダム湖以外の観光拠点はスキー場の開発と、大垂滝である。これに次いで白馬洞、天狗岩、夫婦杉等が挙げられる。



在来民具品の一例

- 三、観光土産品については従来販売されてきた並刃的なものばかりに止らず郷土色豊かなものを食品および民芸品の両面に打出し、当地方独自の土産品の開拓を行っていく技術者の養成、又は研究者の育成に力を注ぐ、これは全く開発の第一歩に過ぎないが順序としてかくあるべきと思う。
- 四、ダム湖周辺の国道沿いに景観美を誇る地域が各所に出現すると考えられる、所有主たる電源会社の承諾さ

- 五、昨年から得た反省であるが、観光来村者に最も不便を与えたのは、食事、休養、土産品をゆっくり採る場所が欠けていたことである、今年は何等かの形でこの種の施設を造り上げたい。
  - 六、昨年中、農協の好意で階上を開放し陳列した民具品展示場を、こうした臨時的施設から本格的施設に発展させるため、郷土歴史館、文化財記念館と併せて民具、民芸品の紹介展示場を設け全館開放して見学価値を高める。
  - 七、また、往時から幾多の伝説を生んでいる下山の白竜大権現の再建を計り商売繁昌、魔除、厄除の御利益を広く観光客にも願いたい。
  - 八、このほか、県では当地を福井県立自然公園に指定する価値を調査中である、可能な限りこの指定も受けたい所存である。
- 以上がその大項であるが、計画の実現は時流を見、機会を捉えてこそ成功につながるものであることから観光協会をも包含して調査と実現に万全を期し責任体制を布き、無理と無駄のないよう進めてゆく。

○ 各種の控除で明るい納税↓住民税申告



# 婦人学級開講に想う

## 婦人みんなで考えてみたい事

毎年この年、各分館において冬期学級が開講されています。大変喜ばしい事です。「何年学んでも同じ所を歩いているのではなからうか」と不安ではありません。婦人会活動の目的はやはり地域社会の発展と、円満な家庭、明るい人間関係の建設であると思います。その方法として毎年学級活動が続けられ、子供のしつけ、話し合い活動、手芸、スポーツとそれぞれを通じて学んでいます。一番大切なことが忘れられているのではないのでしょうか。いつか朝日館長が挨拶された中に「男女同権が叫ばれても一向に女性の地位が上らないのは、女性自身学ぼうとする心が欠けているからだ、たとえば集会を開いた場合、男子が集まれば必ず話題が政治、経済、世界情勢になるが、婦人の場合は台所のこと、着物のこと、と小さな所だけに目を

主婦みずからが-----



とめています。もう少し大きく目を外に向けなければ男女の格差がだんだん開くばかりではないか」と。こゝで私達婦人が考えなければならぬ事は、人口の半数以上が女であること。その女がいつ迄たっても堅実な考えを持たないと

### 【派出所だより】

## 運転免許の更新の際における講習の実施について

自動車運転免許をお持ちの皆さん、今まで免許証の更新は身体検査だけでありましたが、毎日各地で発生している交通事故の内容をみますと、その大部分が運転者の過失と法令の不知、交通道徳に欠けていることが原因とされており

- (1) 交通道徳
- (2) 安全運転に対する知識
- (3) 県内における交通事故の状況と対策
- (4) 道路交通法の改正点

## 私の希望

### 「図書室の整理」

最近図書室に入って見ますと、これが公民館の図書室だろうかと思えます。専門職員がいる程大きな図書室でないこともありますが、物置同然で、どこにどういう部門の本があるのかさかわかりません。関係者にいわせれば、利用する者がもっと責任をもった処理をすべきだということですが、あの乱雑な図書室内の様子では、とても整理するというより借り出して読んで見ようという意欲さえなくなり、整理されてい

にあるのか探すのに一苦労です。せつ々ある本棚をもっと有効的に整理し、誰でもどこへ返せばよいかわかるような表示をしておけば乱雑さはなくなり、図書も大事に取り扱もつとふえるのではないのでしょうか。いろいろ理くつを並べて責任をなすり合っているより、この際、早急にかきりした図書室の整理に取りかかってほしいと思います。国体も大事であり、忙しいですが、「清く明かき」は何も国体だけのスローガンではありません。日の目の当らぬ図書に明るさを与え、利用する人達が楽しんで読書できるようにしてほしいと希望します。

○ なだれ多し通行に注意しましょう

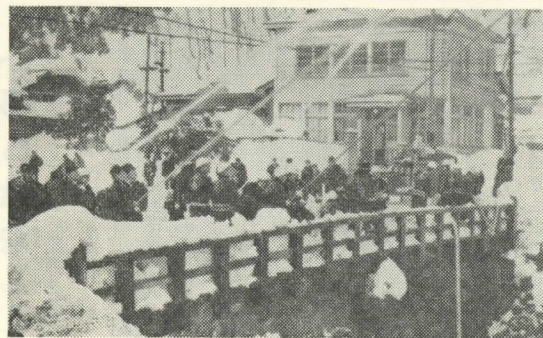
## 消火態勢に万全を

### 中竜の消防出初式

中竜鉱業所自衛消防隊(本部長永松勇)、和泉村消防団第五分団(分団長伊藤晃)は、一月七日午前九時から中竜支所長、和泉村消防団長等関係者多数を来賓にむかえ中竜会館で出初式を行った。

- 式後、本部長の講評と引続いて次の三隊員に功労章が贈られた。
- 班長 坂口弘一
- 隊員 小田善三
- 隊員 森本安幸

- (3) 今年の世界情勢と経済のなりゆき
- (4) 子供のしつけおよび人間関係
- (5) 村議会のぼう聴
- (6) 交通、防犯講話
- (7) スポーツ(バレーボール)
- (8) 家庭教育、家庭数学



平和橋でいつせいに放水試験

## こだま

ある。道路は政治の動脈で根幹なりと最近特に急激なる経済成長にともない道路の重要性が強く要求されて来ている。たしかに道路が完備されている事が国民の生活文化の発展に不可欠のものである事は言をまたない。なお良く云われている地域格差の是止、即ち教育文化等の平等なる恩恵は其の交通条件により自ら解決されるものと思えます。和泉村に於ては歴史以来の大事業である奥越電源開発工事今年も今年も最終年を迎えてあの雄大な人造湖に満々と水をた、えて、朝夕の太陽に水面をキラキラさせながら輝く様子を思い和泉村の観光開発に一段の希望と期待を夢見ている。今後は村

(次頁の下へ)



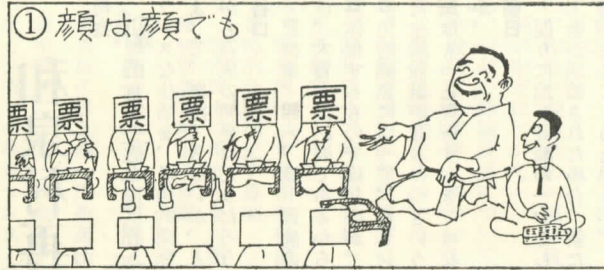
### 役場の窓

## みんなの暮らしは政治でまがる

### 正しい政治はあなたがきめる

明るく正しい選挙と云う言葉は、もう皆さんによく知られている事ですが、いつ迄たつてもこの運動がやかましく最近特に進められなければならないのはなぜでしょうか。

一つにはこの運動が未だに末端に滲透してないこと、有権者の自覚を促すものでありましょう。そしてもう一つは、裏を返せばいくら叫ばれても一更に正しく選ばれていないこと、つまり巧妙に違反している人が当選率が高いという現状からだと思います。



この悪循環が繰返されていく以上、明るい住まい、社会は生まれ、新しい事、選挙の一番長く、進んでいる国イギリスでは金や品

物を使う候補者はぜひたい当選しないさせないそうです。我が国も今や世界の文明国の仲間入をしている以上、

### アイデア募集

今年の観光開発方針に特産みや製品の開発という一項目があります。和泉村にゆかり多く且つ独得の感覚をもつ民芸品、工芸品の創作についてヒントを与えて頂きたいと思ひます。次の要領で御応募下さい。採用の分には薄謝を呈します。

昔乍らの民芸品、工芸品(木彫品、薬工品、蒲工品)として壁掛、置物、置物敷、器物、頑具コケン類等で

(1)、和泉村らしい素材な感覚のあ

るもの三点をお示し下さい。

(2)、異品または自作の現品等具体的なものを添えて下されば最上

(3)、加工食品についても異色あるものゝ発案があったらお知らせ下さい。

(4)、昭和四三年三月三十一日を〆切とし、左記宛所へ郵便または直接御持参下さい。結果は本紙上で発表します。

宛先 和泉村役場内観光協会



### 国体マークを使用しませんか

国案は教育委員会にあります。第23回福井国体デザインガイドシートができました。商店街のアーチ、包装紙、手拭、ウチワ、マツチなどに使用できます。ご希望の方は村教育委員会国体の係まで申し出て下さい。

### みんなで作ろう

### 明るい少年の村

毎月 十日は少年を守る日  
第三日曜日は家庭の日

一、なんでも話しあえる家庭にしよう  
二、良い本を読み、良いテレビを見ましょう。  
三、人の子にも愛のひと声をかけましょう。  
四、子供等をみんなの手で育てましょう。  
五、あぶない場所や危険な遊びはな

題が新聞記事から姿が消されるまで根気よく運動を続けて行こうではありませんか。

この一票あなたが築く  
よい郷土

### 統制小作料の改定

### 和泉村農業委員会

昭和三十年に決定された統制小作料が、このほど農林省において、改定された。

これは、最近における農業の生産条件や、農産物の価格等のいちじるしい変動にともなうて行なわれたもので、小作料の基準額を、現在の農業条件によつて算定したものに改められた。

和泉村農業委員会では、この統制小作料の改定にともなうて、当村における農地(田・畑)についての基準小作料を協議した結果、十アール(一反当り)田は、現行の二、〇〇八円を四、四七六円に、畑は、八六七円を一、六八〇円にすることを決めた。

### 統制小作料一覧表

農地等級	10アール当り 田 円	10アール当り 畑 円
1	5,688	2,170
2	5,444	2,073
3	5,204	1,973
4	4,960	1,875
5	4,720	1,778
6	4,476	1,680
7	4,236	1,580
8	3,992	1,483
9	3,752	1,385
10	3,508	1,285
11	3,268	1,188
12	3,024	1,090
13	2,784	990
14	2,540	893
15	2,300	795

六、子供もおとも交通ルールを守りましょう。

○ 固定資産税の第四期納税は二月二十九日まで

(二頁より)

民自らの手により理想郷実現のための決意を新に努力研究しなければならぬ。これに伴い道路は昭和四十四年完成を目標して大野油坂間の舗装のための改修工事が各所で行われているが、その工事開始と同時に交通規制が行われ一般通行人が貴重な時間を制約される工事中であるから時間制限も道路の悪いのもやむを得ないとは絶対に理由にならない。一個人の利益のため公共事業の美名にかくれ一片の道義的責任もたない。県監査委員会発表により新聞紙上でズサンな土木工事と指摘されている通り、其の工事が工期内に完成する事は数少ない、それには設計変更と云う理由が認められる。工事中の現場は池の様な穴あり岩ありで最も危険な場所をノロノロ運転せざるを得ない時間制限する事が既に大衆には大きな九月以来六千人余に及ぶ観光客が毎日の様に訪れる。愉快であるべき旅行が一部の心なき所業により危険を感じ不愉快な印象を植えつけさせ強い憤りの目で見に行く。関係者はその事業の社会的責任を認識し最善を尽くすべきである。将来日本の農山村地域は都市住民のレジャーの場でありその役割は益々大きなものであり和泉村の観光開発は前途洋々たるものである。然し将来良くなると云いながら現在この様な道路では一般人また観光客にあたる印象を考へる時、今後の観光に大きな障害となる事は避けられない。

県土木関係者の方々はこの様な道路状況を知らぬ筈はない。知りながら知らぬ顔とすれぬ不思議である。今年猿年である昔の諺に、見ざる聞かざる云わざるとあるが今後は、見よう聞こう云おうの毅然たる態度でのぞんでほしいものである。



# 和泉村再建座談会

(その二)

司会

山林所有者と労力提供者とのアンバランスな生活を、多角的開発の方法によって、解決できないか、という見地から石灰の開発はどうだろうか。

谷口

農林業、観光、地下資源の各開発には、大資本が必要であるから、早急に具体化するものではないが、こうした多角的開発によって、バランスのとれた生活設計がなれたという事を、村民はもっと理解すべきではないだろうか。

朝日

仮りに地下資源の一つとして、石灰工場が誘致された場合、新たに公害問題が生じてくると思うが。

中村

公害による環境の悪化は、喜べない中村

中内

石灰の開発が、生活基盤の確立に役立つ且つ生活文化等にも有益であるような開発法を、外部の資本により、研究することが大切である。

谷口

石灰開発には、採掘して村外で加工する方法も、一手段ではないか。

朝日

四十五年頃には、鉄道も開通し、そうした方法も不可能なことではないと思う。

中内

村外加工は、ただ単に原石を提供するのみに終り、多角的開発の主旨にそわないような状態となる恐れもあり、村民全体の今後の問題として、考えな

ければならない大切な問題であります

谷口

開発の必要性は認めても、その方法によっては、他の開発に障害を及ぼすことにもなり、細部の計画が必要である。

司会

石灰の開発と共に、温泉ボーリングがあるが、これについてはどう思いますか。

谷口

温泉ボーリングに対する大資本投下は危険であり、当初は冷泉に目標をおき、専門的調査が必要ではないか。

司会

温泉には、温度によるものと、成分によるものとに分類され、一本のボー

リングに約二千万円以上の経費を必要とするようだが、

中内

未知なものに多額の村費を投入して将来、村財政を圧迫しないよう確実有効に、各開発を進めていただき、村民全体の開発であることを望んでおります。

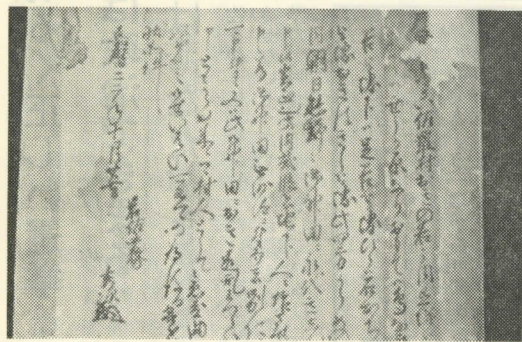
中村

温泉は、観光開発の近道でもあり、専門的調査を十分におこなって見る必要がある。その結果によって、観光開発の進め方も変わってくるのではないかと考え、早急にそうした調査をすべきである。

司会

地下資源開発の一つである石灰、あるいは温泉ボーリングなどについてはまだ、調査すべき問題が残っており早急に計画すべき部類に属するものと思えます。

## 熊野神社御神田のこと



(写真はその寄進状)

嘉暦二二年十月二七日、岩佐中務秀次の書状に、朝日熊野神社に御神田永代寄進のことが書いてある。

場所は鳥鳴谷から足谷までの間で、四方の境を明記し、この内二反を土地の者に作らせ、作人が怠けた場合は別人に申し付けるとし、御神田に対し不届きの所業ある者が出た場合は、成敗あるべき旨の意味が記述され、為後日寄進状如件、と読んである。

(註)

一、年代について

嘉暦二二年は二年の誤りではないかと思われる。(嘉暦は三年迄) この年は西暦一三二七年(今から六四〇年前)で後醍醐天皇の頃である。

## 国道、県道など除雪作業たけなわ

三八・一の豪雪以来の大雪にみまわれた今年は一時和泉村も交通途絶のため孤立状態と危ぶまれたが、目下県土木部などの除雪作業は主要路線で連日ブルドーザのエンジンのうなりも頼母しく、交通確保のため白魔との戦いといわれている。除雪後と雖もなだれ等の

二、中務省について  
中務省(なかつかさしう)は古代律令官制の省の一つで、その官職に、卿、大(小)輔、大(小)丞、大(小)録、待従、内舍人(以下)等があり、中宮職、大舍人寮、図書寮、内蔵寮、縫殿寮、陰陽寮、画工司、内礼司のことをつかさどった。

三、岩狭について(御神田寄進状には岩佐とあるがおそらく岩狭の間違ひではあるまいか)  
古文書所在一覽(中世以前)によれば本泉は岩狭、越前の二つに分れて、神社、仏閣がそれぞれの所管に属しており、熊野神社はおそらく岩狭所管であったと思われる。(岩狭は今の若狭)  
後記  
岩狭へ派遣された中務省の役人秀次(官位不明)が、管下の熊野神社に御神田を寄進したことは興味深い事柄であるが、どうして寄進の運びに至ったか、その後どうなったかは詳らかでない。

当時中務省から地方へ派遣された官職者及びその権限、支配の実績等を克明に調査すれば或は前記に関連ある事実が発見されるかも知れない



(活躍中のブルドーザー)

## あとがき

暦の上では立春、しかし、まだまだ寒さはさびしく冷い北西風が吹きあれます。かぜなどにとりつかれないよう例年になく大雪になりました。家々の屋根雪で道路がうまっています。火災のおきやすい時期ですから努めて近く道路の除雪や消火栓の確保に御協力して下さい。